

東漸寺が所蔵する貴重な宝物を展示し、その歴史と所蔵文化財を紹介します。^{ねはんず}涅槃図、^{やぐら}掛け軸、櫓時計、書物、版木、焼物など歴史ある古刹ならではの史料をご覧ください。東漸寺の寺宝を通じて、現代の我々へ引き継がれた東漸寺の系譜と真髓を、本展を通じて体感いただけましたら幸いです。



(大名行列絵巻 文化八年)



(長尾無墨 雁図)



(信斎焼 東漸寺が90年前
洗馬小学校へ寄贈)



(菩薩坐像)

東漸寺



塩尻市洗馬にある寺院。山号は仏法山一乗院。浄土宗の古刹で木曾義仲の幕下に属した長瀬判官代が文永年間に至宝山西光寺を建てたのが始まりとされる。関東十八檀林の佛法山東漸寺と開山を同じくする。境内のシダレザクラは幹囲4.4メートルで市内最古の桜とされ、昭和46年(1971年)に塩尻市の天然記念物市に指定されています。

